



はっ た まさ とし  
**八 太 正 年**

む かい は  
**無 会 派**

### 工事の発破作業による被害への早期補償を

**問** 美杉地域のトンネル工事において、発破作業により、現場付近の民家にひびが入る被害が発生した件について、なぜ、事前に調査をしなかったのか。

また、被害者に対して、いまだに補償がなされていないが、どうなっているのか。



**答** 事前調査については、設計時において、発破地点からの距離や火薬量をもとに振動値を約70デシベルと予測した。約70デシベルでは家屋への影響はないという判断をし、事前調査は行わなかった。

建物への被害については、発破作業中に申し出のあった方に対して中間調査を実施し、発破作業終了後、順次、事後調査を実施している。現在は、調査を終えた方から丁寧に話を伺い、補償について協議を進めている。

事後調査を行うことの承諾が得られていない被害者の方についても、承諾を得た上で調査を実施し、調査が済み次第、津市工事請負契約約款の基準に沿って対応していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の横流しについて
- 安全・安心のまちづくりについて
- 津市道路整備計画について（新家垂水線の早期着手を）
- 近鉄久居駅周辺の鉄道高架化による危険踏切の解消について
- 雨水排水対策について



▲近鉄久居駅周辺を鉄道高架化し、危険踏切の解消を



なか がわ たみ ひで  
**中 川 民 英**

に ほんきょうさんとう つしぎ だん  
**日本共産党津市議団**

### 市職員の過剰な時間外勤務を改善せよ

**問** 職員が市民サービスの低下につながる過剰な時間外勤務を強いられる状況をなくせ。

今年度も月平均45時間を超えている職員が141名、100時間を超えている職員もいる。職員の健康管理や超過勤務の減少に向けたような姿勢で取り組んできたのか。職員が疲弊し、心に負担をかけながら頑張るしかない状況をどう改善していくのか。2500人体制の見直しを。

**答** 時間外勤務が1カ月に45時間を超えた職員は、翌月に所属長に対して当該職員の健康状態及び今後の対応について報告を求めており、80時間を超えた職員には、翌月以降に産業医の保健指導を受けさせた上で所属長に対して改善方法を求めてきた。また、時間外勤務を縮減するため、年に2回所属長ヒアリングを実施し、現行の組織体制での行政運営への支障の有無や次年度想定される事務量などを聞き取り、その上で是正すべきところは真摯に受け止め、業務を円滑に推進するための組織の変更や人員配置を行ってきた。合併10年を機に事務総量を検証し、適正・効率的な人員配置に努め、行財政改革で達成した2500人体制で事務の効率化を進め高みを目指して頑張っていく。

### ●その他の質疑・質問●

- 時間外勤務が多い部署、原因をつかんでいるか。また、軽減する対策を
- 管理職の勤務状況を把握しているか
- 非正規職員の待遇を改善し、正規職員にせよ
- 災害などイレギュラーに対応できる状況をつくれ
- 技術の承継ができる状況をつくれ など



▲長時間の残業が常態化している津市役所